

たきめ細やかな負担割合となるよう、現行の第16段階を細分化して新たに第17段階、第18段階を設けます。なお保険料基準額は、準備基金約4億円を取り崩すことで据え置きとしています。

委員からの「紙おむつ購入費支給の財源と対象者の見込みは」との問いに、市は「すべて第1号被保険者の保険料でまかない、年間1500万円程度の事業となる。対象は現在の2倍の約300人を見込んでいます」と回答しました。

(福祉常任委付託分)

城陽市学童保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正

富野学童保育所を、小学校内から隣の旧公民館跡地へ移転・新築することに伴い、所在地を改めるなど所要の改正を行うもの。

委員は「児童の通所

時等の安全確保」を問いましたが、市は「これまで学校との境にあったフェンスを撤去し、ほぼ一体的に利用できる形とした。また登下校時は府道側ではなく、グラウンド側を通るよう指導し、安全を確保していく」と答えました。

(福祉常任委付託分)

補正予算

令和2年度城陽市一般会計補正予算(第11号) 可決

歳入歳出にそれぞれ6億9228万3000円を追加し、補正後の予算総額を426億4480万4000円とするもの。

主として新型コロナウイルスウィルス感染症対応に係る新規事業の計上と、歳入歳出の決算見込額による予算整理を行うものです。

質疑において議員は、

新しい生活様式のもとでの情報発信力強化に向け、LINEアプリを使った方法構築に係る経費が計上されていることから①導入スケジュールと個人情報保護への配慮②ワクチン接種予約時の活用を問いました。これに対し、市は①事業提案の中から費用対効果や運用面を考慮して事業者を決定し、契約事務やシステム構築を行う。令和3年9月から運用したいが、現状を鑑み、LINE社の情報漏えい対策、国や他自治体の動向を注視しつつ、懸念が払拭され安全性が確認された段階での実施となる②コールセンターにおける電話予約とWEB予約を想定しており、LINE予約は検討していない」と答えました。

また障がい者・高齢者施設支援の具体的な内容について、市は「感

染症対策物品の購入や

職員のPCR検査受検費用、障がい者の工賃補償など、感染防止の取り組みに対し幅広く助成していく。4月中旬に要綱を作成し、事業所に通知したい」と説明しました。

このほか「学校施設の水道蛇口をレバー式に交換する予算が計上されているが、将来的には自動水栓への転換を進めるべき」「小・中学校特別教室にもウイルス除去機能つき

のエアコン設置を」等の要望がありました。

(委員会付託省略)

人事

次の議案に同意しました。

○副市長

本城秋男さん 再任

○固定資産評価審査委員会委員

秋山達さん 再任

請願審議

核兵器禁止条約に署名・批准を求める請願

不採択
好廣眞一さん、堀江幸男さん、後宮みち江さんから提出
請願者は「日本は核兵器禁止条約を批准すべき。市議会として国に対し、条約への参加を求める意見書を提出してほしい」と説明しました。

討論において、反対の立場の委員は「周辺諸国の脅威があり、批准すれば日本の安全保障の瓦解をもたらす」「世界各国が条約を批准できる環境を整えていくことが重要」等と述べたのに対し、賛成の立場の委員は「平和都市宣言を行った市と

して賛成すべき」と意見を述べました。
(総務常任委付託分)

教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願
不採択
学校教育の充実を求める会代表 佐藤典美さんほか1005人から提出
請願者は「猛暑が深刻化する中、学習環境保障のため、小・中学校特別教室にも空調設備を」と説明しました。

討論において、反対の立場の委員は「公共施設等総合管理計画に基づき整備はいずれも重要。優先度を決めるのは困難」と述べたのに対し、賛成の立場からは「他市町は整備が進んでおり、本市も早急に実施すべき」「現場の声を聞き、トイレ改修と並行した整備を」との意見がありました。

(文教常任委付託分)